

区分	■ 新規 □ 再提案 (. . . 第 回総会 ; 市)		
種類	<input checked="" type="checkbox"/> 現行制度の改善又は拡充を求めるもの <input type="checkbox"/> 新たな施策の要望又は提案を求めるもの <input type="checkbox"/> 特に市町村への財政支援策等を求めるもの <input type="checkbox"/> その他 ()	分野	<input checked="" type="checkbox"/> 総務文教 <input type="checkbox"/> 社会環境 <input type="checkbox"/> 経済 <input type="checkbox"/> 危機管理建設
要望先	<input type="checkbox"/> 国	担当省庁	
	<input checked="" type="checkbox"/> 県	担当部局	教育委員会事務局心の支援課
	<input type="checkbox"/> その他	名称	
件名	3 スクールソーシャルワーカー (SSW) の拡充について		
提案市	長野市		
提案要旨	<p>県費のSSWの派遣について、義務教育から高校等への切れ目のない支援と、広域的な活動の視点から、市町村への派遣を継続するとともに、活動時間の更なる拡大をお願いしたい。また、県において各市町村が任用しているSSWも含めて研修等による養成を担っていただきたい。</p>		
提案理由	<ul style="list-style-type: none"> ・義務教育まで支援を受けてきた生徒が、高校等へ進学後も継続した支援が必要であること。 ・高校等への進学にあたっては、広域にわたる場合があることからSSW間の情報共有が必要であること。 ・SSWの活動の重要性が増している中で、様々な課題を抱える児童生徒の増加により、SSWの活動時間が不足している。 ・SSWの役割が拡大しているが、人材が不足している。 		
現況及び課題等	<p>令和2年度に文部科学省が実施した調査では、長野県の1000人あたりの不登校児童生徒数について、小学生が全国で3番目、中学生が同15番目に多い結果となっており、様々な課題を抱える児童生徒に対してSSWの役割がますます重要となっている。</p> <p>本市では、児童生徒への早期支援のため、スクリーニング会議を実施しSSWの参画により専門的な視点から各校において支援に繋げることにより、不登校児童生徒の抑制に効果があることがわかってきた。この結果から、全小中学校でSSWを加えたスクリーニング会議の実施を推進している。しかしながらSSWの活動時間が不足している状況がある。また、中学卒業後も兄弟関係など引き続きその家庭への支援が必要なケースなど、小中高の切れ目のない支援が必要であり、さらに広域的な進路の選択もあることから、SSW間の情報共有による効果的な支援のため、引き続き各市町村への派遣を継続していただく必要がある。専門職であるSSWは人材が不足しており、経験のある人材は確保が困難な状況であることから研修等による養成を県に担っていただきたい。</p>		
関係法令	文部科学省「不登校児童生徒への支援の在り方について」令和元年10月		